

告 示

令和7年度昇給額について団体交渉の結果、
下記の通り、妥結致しましたので御通知致します。

< 記 >

妥結額 組合員一人平均 8,800円

令和7年4月給与分より

以 上

令和7年6月18日

I C Sユニオン

執行委員長 長谷川 裕記
公印省略

告 示

令和7年度夏季一時金について、団体交渉の結果、下記の通り妥結致しましたので、御通知致します。

< 記 >

支 給 額 組合員一人平均 520,000円

支 給 日 令和7年7月10日

以 上

令和7年6月18日

I C Sユニオン

執行委員長 長谷川 裕記

公印省略

告示の通り、団体交渉の結果、6月6日に会社より回答書を受け、令和7年度昇給額ならびに夏季一時金は妥結いたしました。

団体交渉の要点

5月22日の第一回団体交渉では、昇給と賞与について要求金額とその根拠を説明しました。物価高騰や売上・利益の増加、販管費の圧縮などを根拠に挙げ、情報システム部や顧客支援部の取り組みについても説明しました。第19期通期の業績については、販売が21億5261万円、遂行率102.51%、前同比110.23%、売上総利益が12億1236万円、遂行率101.88%、前同比101.11%と、販売・売上総利益ともに計画達成かつ前同を上回る結果となったことを確認しました。一方、販売管理費は11億5954万円、遂行率98.75%、前同比98.31%と圧縮に成功しており、その結果、第19期の最終決算は営業利益5282万円、経常利益5891万円、当期純利益4174万円と、いずれの利益も計画を上回る結果となりました。情報システム部としては、品切れ連絡や電子請求書対応、基幹システム更改、帳票電子化、ヤクハン対応などに取り組んでいると報告し、顧客支援部としては、利益確保のために導入作業費や作業代行費の費用請求、仕切価格上昇品目の価格転嫁、Windows11入替えに伴う月額サポート料の引き上げなどの取り組みを説明しました。

5月28日の第二回団体交渉では、前回指摘された中北薬品への具体的な利益貢献額について説明しました。会社側からは顧客支援部の営業利益について、CRMの中北薬品への費用請求を除くと赤字ではないかとの指摘がありました。また、昇給の根拠として2020年と比較している点について、団体交渉で毎年妥結しているため、過去に遡る要求根拠は受け入れられないとの意見が示されました。

6月2日の第三回団体交渉では、会社側からは妥結額を中北薬品側に準じる方針が示されました。組合側は金額ではなく月数やパーセントを揃えるよう改めて申し入れ、会社側からはその方針で調整するとの回答がありました。また、組合側からは、300周年カイゼン提案のアンケートへの社員の参加や「優秀安全運転事務所 金賞」受賞など業務以外の点についても説明をおこないました。

6月6日の第四回団体交渉では、昇給8,800円、夏季一時金52万円の回答がありました。要求していた月数やパーセントを揃える件については、再考の結果、金額を揃える方針に戻すとの回答がありました。三役会を開いて協議した結果、妥結することに致しました。

中北薬品に準じるとしても、金額ではなく月数やパーセントを揃えてほしいと要求額を設定いたしました。が、会社側に受け入れてはもらうことはできませんでした。また、昇給も夏季一時金も満額妥結には程遠い結果となってしまい誠に申し訳ありません。

結果だけを見ればICソリューションズ分社化以降、昇給は1番目、一時金としては2番目に高い妥結金額となりました。これはひとえに組合の皆さまが日々頑張ってきた結果です。第20期もあと少しで下期に入ります。現状、販売は堅調なもの、売上総利益は基準進捗を下回っている状況です。昇給や一時金の支給には利益が確保されているかが重要となってきます。第20期もあと少しで折り返し地点です。もうすぐ始まる第20期下期も引続き利益確保にご協力をお願いいたします。来年はICソリューションズの20周年、中北薬品の300周年も控えています。組合といたしましても計画達成に向けてどのように行動していくか、組合員の皆さまの意識・行

動改革の一助となるようサポートをまいります。

最後になりますが、日頃の組合諸活動へのご支援、ご協力に心から感謝申し上げます。

令和7年6月18日

ICSユニオン

執行委員長 長谷川 裕記

公印省略